

支援の手だてリスト(具体例)

		② 書き写そう	
		文章を見て書き写す力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
1	目標・ねらい 学習の評価	1) ・活動内容を具体的に示す ・児童生徒を主語にして「～する」「～できる」という表現にする ・一つの目標には二つ以上の内容を入れない 2) ・板書や紙に書くなどして、児童生徒が見て分かるように提示する 3) ・まとめの時間に授業の振り返りを必ず行う	1) ・振り返りシートなどを活用し、目標やねらいについての自己評価をさせる ・言語化が難しい児童生徒の場合は、項目を示し、○×でチェックさせる 2) ・シールなどによるポイント制を利用する
2	授業の構成	4) ・「たて、たて、よこ、よこ」など言語化して書かせる 5) ・空書を行う 6) ・あらかじめ板書計画を立て、転記しやすい板書を心がける	
3	学習のルール	7) ・うまく書けないときの合図を学級のルールとして決めておく ・途中で書けなくなったときに、「手を挙げる」、「お助けカードを出す」などの合図を決める 8) ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方などを絵などで分かりやすく提示する	